

マテリアルデータベースの新展開

—知識を蓄積・抽出・俯瞰する—

Developments in materials databases
Accumulating, extracting, and overlooking knowledge

近年、データベースの拡充が急速に進む一方で、大規模・複雑なデータベースから、いかに情報を抽出し、理解するかが重要となっている。このような状況において、知識グラフや大規模言語モデルなどを活用した新しい情報抽出・解釈技術が注目されている。本シンポジウムでは、材料データベースを中心に、関連分野の先端研究者を集め、知識抽出・俯瞰技術について議論を行う。

日時

2025年 3月 14日 (金) 13:30~16:50

会場

東京理科大学 野田キャンパス & オンライン

プログラム

■ 谷藤 幹子 (国立情報学研究所)

「研究データの未来：オープンサイエンスと生成AIの融合」

■ 高須賀 聖五 (奈良先端大)

「研究データの蓄積と活用：電子ラボノートを中心とした新たな研究基盤の新展開」

■ 鈴木 雄太 (トヨタ自動車)

「[第57回講演奨励賞受賞記念講演] 結晶構造の「意味」を学ぶ深層学習技術」

■ 福田 賢一郎 (産総研)

「科学と情報抽出：知識グラフと生成AIの応用と展開」

■ 井形 秀吉 (Preferred Networks)

「マルチモダリティデータとグラフ表現学習 ～生物学分野における例～」

■ 高橋 亮 (科学大フロンティア研)

「機械学習を用いた物質分類と有望物質群の特徴抽出」

【企画】 応用物理学会インフォマティクス応用研究会

【世話人】 知京豊裕、沓掛健太郎、小嗣真人、富谷茂隆